

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表 集計結果

公表:令和2年1月16日

事業所名 こどもプラスほしのこ

	項目	はい	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		東京都指定により、教室の広さは児童1名に対し4㎡と定められています。当事業所は80㎡あり、児童が運動するには十分なスペースが確保されています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○		職員数は、児童10名に対し職員2名が基準として定められています。当事業所は、安全面等を考慮して加配を有しております。専門性についても、全職員有資格者となっています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		相談室、事務室、運動等のスペース、道具の片付けの場所など、児童に分かりやすく配置をしています。室内や児童が使用する机には、コーナーガードを設置し、衝突時の安全に留意しています。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎朝教室内でミーティングを行い、その日に利用する児童の情報共有や、前日の児童の様子振り返り、連絡事項を共有しています。また、月に1回姉妹教室を含めたミーティングを行い、情報共有、業務の改善等について話し合っています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年に1度保護者の方に事業所評価をしていただいています。保護者からの意見をもとに、職員ミーティングを行い、改善のため順次対応しています。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○		保護者向け評価表と事業所向け評価表の結果を集計してホームページ上で公開しております。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	こどもプラス系列の外部講師に改善すべき点を具体的に指摘していただき、その内容を反映しています。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		「虐待防止」「強度行動障害」「高次脳機能障害」「防災研修」を中心に、人員配置を適切に行いながら、必要に応じた研修に参加しています。職員のほとんどが「運動保育士」の資格研修にも参加し、資質向上を目指しています。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別支援計画の見直しは、半年に1度、もしくは児童の成長・変化が見られる度に行っています。その際、児童指導員や児童発達支援管理責任者の複数の意見に基づき客観的に分析をしながら計画を作成しています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		契約時また、年度が変わる毎にアセスメントシートの記入を保護者の方へお願いしています。生活するための基本動作から社会性・情緒、行動面、学習面の把握に努めています。	教室外での児童の様子を保護者を通して詳しく聞き取る。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎朝のミーティングの時間や療育後等の時間を使い質の高い支援を行えるように努めています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		その日の児童の様子に合わせて臨機応変に対応しています。各指導員がプログラムをもちより、季節に合わせる事や子どもの様子から必要な活動を取り入れています。	

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○	それぞれの児童の課題を話し合った上で、療育内容を考え、取り組んでいます。他児との関わりにおいては、集団遊びを取り入れる等に努め、児童の体力に応じて臨機応変に運動療育のみでなく静かな活動等を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別計画と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	個別活動と集団活動を組み合わせよう個別支援計画の作成に努めていますが、それぞれの児童の課題を重視しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	毎朝職員間でミーティングを行い、その日に来所する児童の情報共有や、その日療育内容について話し合っています。また、前日の振り返り・保護者からのご相談・情報についても職員全体で共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	療育終了後に、個々に話せるタイミングで振り返りや保護者からの連絡事項を共有し、翌朝のミーティングでは全体での情報共有を図っています。	療育終了後に、全体での振り返りの時間を確保し、その日の連絡事項を共有するように改善しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	各児童の1日の様子、全体の活動日誌、サービス提供内容の記載を行っています。支援に関する記録を取るなかで、その日の支援について振り返り、改善点を出しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	モニタリング前・後ともに教室の全指導員からの意見を吸い上げ、一人ひとりの成長に合った見直しを図っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○	定期的にガイドラインを読みなおし、日々の療育に繋がっています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	今年度該当なし。	児童発達支援管理責任者が対応していきます。
	21	学校との情報共有(年間行事・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○	学校から保護者を通して連絡を行っている。また、保護者から学校へ連絡を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○	重症心身障害児以外を対象としている為、該当なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	幼稚園・保育園等とは情報共有が難しい面がありますが姉妹教室である児童発達支援事業所との情報共有と相互理解は行っております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	主に小学校低学年の児童を対象としている為、該当なし。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	児童発達支援センターや児童発達支援事業所の職員の方の療育の見学を受け入れ、情報等を共有し連携を図っています。姉妹教室との連携を図り、児童を多方面からとらえられるよう努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	姉妹教室と一緒に合同行事で、地域の方々へ声を掛けて、障害のない子どもとも関わる機会を設けています。	地域交流の場として「夏祭り」を例年開催しておりますが、今年は雨天のため中止となりました。姉妹教室と合同で、公共施設を利用するお出かけ療育を実施しております。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		区が開催しているネットワーク会議や発達応援フェア等への参加をしています。また、地域ネットワーク会議では、会議を担う事務局にも参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		療育後、保護者の方へのフィードバックの時間を設けており、その日の児童の様子や見受けられた課題、今後の支援について話し合う時間を設けています。ご家庭や学校での様子についても都度情報共有をしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		普段のフィードバックの時間に、児童との関わり方について都度お伝えするようにしています。12月には、保護者勉強会を「学習障害」「幼児向けのSST」をテーマに開催いたしました。	
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際に契約書類の読み合わせを行っており、変更があった際にも同様にお伝えをしています。また、重要事項説明書については教室に掲示してあります。	
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		その日のフィードバックの時間を用いて、ご家庭や学校における相談に対応しています。必要に応じて事前に日時を決めてから相談室を開放し、児童発達支援管理責任者のみでなく保護者のニーズに応じた職員が対応できるように努めています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		各行事や定期的な保護者会等で顔を合わせたコミュニケーションを取る場があります。今年度は、ほしのこカフェを開催し、保護者同士で子育ての事など何でもお気軽にお話や相談事ができる交流の機会を設けました。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		申し入れがあった場合はその都度職員間で共有し、話し合った上で適切な対応を行っていきます。保護者からの申し入れがあった場合は、随時予定を調整して相談室にて対応していきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		日々の活動の様子やお知らせをお便りにして毎月発行しています。また、教室のホームページも定期的に更新し情報発信をしています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に記載されている書類については、鍵付きの書庫にて管理をしています。契約の際に同意をいただく緊急時の医師への情報提供、他事業所との照会、事故発生時の情報提供以外の外部への流失はありません。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者の方とも情報共有を図り、児童一人ひとりに応じた円滑なコミュニケーションが図れるように努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		町会や地域の小学校や幼稚園・保育園の方にも声掛けし、参加していただいています。	
非	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルを策定し教室に保管しております。また、緊急時の連絡手段として、保護者の方にはマチコミの利用登録をお願いしております。	マニュアル閲覧のご要望がありましたら、随時対応させていただきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		一時避難場所である大森第四小学校が改装工事のため、浦守稲荷神社や大森南4丁目公園までの避難訓練を含め、教室内の防災訓練等を実施しています。	防災頭巾を被る活動や、SSTなどを通じて、児童の防災に対する認識を深められるようさらに訓練を行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に外部の虐待研修に参加しています。教室内においても、虐待研修に参加した職員が内容を共有し虐待についての話し合いを設けています。	

常時等の対応	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		児童の安全確保のためやむを得ない拘束があった場合には記録に残し、保護者にもその状況説明や対応を伝えるようにしています。	現在は個別支援計画への記載は行っておりません。今後検討していきます。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書ではなく、保護者からの指示によって対応をしています。現在、食物アレルギーの児童に対して契約の際、保護者の同意を得て事業所ではおやつを提供せず持参したおやつを食べています。その際に、児童専用のお皿で分ける事でアレルギー食物の混入を防ぐようにしています。	
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが起こった際には、事の詳細と再発防止のための対策を記録しており、教室内でのフィードバックを徹底しています。また、毎朝のミーティング時に再発防止のための対策を共有し、改善に努めています。	